



坂井輪総支部
〒950-2054 新潟市西区寺尾東 3-1-19
友の会事務局 ☎・fax025-269-6682
x-lisakaiwa_syain@niiigata-min.or.jp

新型コロナウイルス報道の合間に「自殺した職員遺書の公表」など幾つかの見どころがない報道があった。「津久井やまゆり園」判決もその一つ。これに関連してニュースの和光大学名誉教授・最首氏（娘の星子さんは盲目で重い障がいがあり共に暮らしている）のコメントに残った。「星子がよくしゃべるんです…ポイントは大丈夫だよって」「星子は『任せる生き方』…目的達成なんて小さなことではない。命を生きる中に死があってそれを繰り返していくような命にあって、目的なんてものは問題にもなりやしないじゃない…ってことを星子がしゃべるんですよ…たぶんね」(…最首さんの笑顔が忘れられませんでした)

安達先生の～コロナウイルスについて～



■安達先生フェイスブックより転載

発信者: 新型コロナウイルス感染症に関する専門家有志の会

宛先: 日本に住むすべての市民 (3/25 掲載)

「日本の医療従事者と医療を守るため、新型コロナウイルス感染症を食い止める行動をとりましょう！」キャンペーンが始まりました。そして今、私たちひとりひとりができることを実行しましょう！

- ① 毎日の生活の中で、3つの条件が重なる場（密閉空間＋密集場所＋密接場面）に近づくことを徹底的に避けること
- ② 一度に多数の感染者を生むかもしれない行動（屋内で50名以上が集まるイベントへの参加、家族以外の多人数での会食など）を徹底的に避けること
- ③ 風邪症状（咳や咽頭痛など）がある場合には、外出を控え、まずは自宅で療養すること
- ④ 海外からの過去2週間以内に帰国・入国した方は、その日から2週間は人との接触をできるだけ避け、健康観察を怠らないこと。体調に異変があったら、近隣の帰国者・接触者相談センターに相談すること
- ⑤ 大規模イベントに参加した人は、その後2週間は人との接触をできるだけ避け、健康観察を怠らないこと。体調に異変があったら、近隣の帰国者・接触者相談センターに相談すること

これから目指すべき方向「感染蔓延期」に進むべき道 (3/17 掲載)

～今夜は、舘田 一博先生（東邦大学医学部 微生物・感染症学講座 教授/日本感染症学会 理事長）から最新情報をふまえた web講演会がありました。…今この時点でわたしたちに求められていることは何か？みなさんにお知らせします～

① 重症例の命を守ること すなわち重症例に必要な医療資源を集中すること。裏を返せば、軽症例・無症例への対応と区別することです。PCRが保険適応となり検査件数は増えました。しかし陽性率は低下してきています。不要とは言いませんが、医療資源の集中とは逆の方向へ行かないよう注意しないといけません。

② 軽症例への集中による医療崩壊を防ぐ 風邪症状と区別できないケースは自宅安静隔離し感染拡大予防を徹底しましょう。無症例は対応の方法がありませんが、むしろ抗体を獲得した集団ですから、集団免疫を拡大し新型コロナを封じ込めることに貢献します。

③ 感染者に対する差別が生じない文化を 感染者は被害者であり、二次感染を生まないよう治療に専念していただきます。しっかりと治るまで励ましましょう。そして治った後は抗体ができるわけですから集団免疫を高めることに貢献します。まさにワクチンをとったと同じ効果を生みます。決して差別してはなりません。だれもが感染し得るのであります。

～他に記憶に残ったこと。

- 新型コロナウイルスは「マイクロ飛沫」で感染する。ふつうのおしゃべりでも感染する可能性があります。
- マスク再利用は今後の課題 アルコールスプレーをふきかけるなど…



～かぜ外来始めました～

「かぜ外来」は臨時的に設置した「診察ハコ」で入口もいつもの玄関と別にさせていただきます。医師がお1人しか入室できません。医師がお1人ずつ診察いたします。(診療所2階 階段口が診察ハコになります。集会所は使用できなくなりました)



申し訳ありませんが、**かぜ症状や発熱のある方は、診療所に入らずにお電話ください。**

(お電話が難しい方は、入口で受付にお声がけください。)

友の会の皆さんへ～集会所は当面4月末まで原則使用禁止になります

☆ ボランティア求めています

～あなたのお力をお貸し下さい～

- 1 「明るい医療」「ひろは mini などニュースの配布と発送作業
- ◆ 配布はご自宅の近くの会員さん宅へポストイング
- ◆ 発送作業は、毎月第1木曜日(原則)に折り込み・仕分します。

4月予定

■ 15日 (水) 幹事会



2/26「核のゴミ問題」について学習会開催

2/26 診療所集会所で寺崎絢一さん(友の会五十嵐支部)を講師に『どうする?核ごみ』をテーマに学習会を開催。職員・友の会で25名参加。

日本の原子力政策の歴史・原発の廃棄物処理・核燃料サイクルについてなどのお話など。使用済み核燃料＝「核ゴミ」は10万年厳重管理が必要、国は地層処分を決めている。が、地震大国日本で安全にできるのかなど、問題は山積み。参加者から「高レベル放射性廃棄物の処理ができないのに再稼働は許されない」「改めて原発再稼働ストップを切に思った」「新しい技術が発見され無毒化になるまで地表で管理すべき」など感想が寄せられました。



講師の寺崎さん



真剣に学ぶみなさん

サークルご案内

- 編物 毎週水曜 Pm ボラン茶
- 縫い物 毎週火曜 Am ボラン茶
- 絵手紙 毎月第1・3木曜 Am ボラン茶
- ウクレレ 毎週木曜 14時 ボラン茶
- 習字 毎月第2・4月曜 Pm ボラン茶
- 地域の茶の間“よってけ亭”
毎月第1・3水曜 Am ボラン茶
- フラダンス毎月第1・3火曜 Pm 小戸事務所
毎月第2火曜 Pm 診療所 2F
- 山の会 低山を平均毎月1回の日帰り山行
- ダンベル体操/ 会員募集
毎週月曜 PM7:00 診療所 2F